

令和2年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

外国語活動

	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
3年	<p>○楽しく活動に取り組んでいる児童が多いが、コミュニケーション活動になると活用することが難しい。</p> <p>○外国語を聞いたり、言ったりすることに自信がない児童が多い。</p>	<p>○外国語活動を通して、外国語と日本語の違いに気付く。外国語に慣れ親しむ。</p> <p>○自分のことを伝えたり、友達に尋ねたりすることができるようにする。</p>	<p>○歌やジェスチャーを多く取り入れ、楽しんで外国語を学ぶことができるようにする。</p> <p>○何度も繰り返し聞いたり言ったりする活動を通して、言うことに自信をもたせるようにする。</p>	<p>○歌や問題に答えるような、個人作業については、児童が楽しく主体的に学ぶ姿が見られた。表現することにも慣れていけるようにする。</p> <p>○繰り返し聞いたり言ったりすることで少しずつ言うことに慣れてきた。自信をもって、言うことを楽しめるようにしていく。</p>
4年	<p>○外国語を自分から話したり、聞いたりすることに自信がない児童が多い。</p> <p>○学習したことを活用してコミュニケーションを取ることが難しい。</p>	<p>○外国語活動を通して、世界の国々の共通点や相違点に気付く。外国語に慣れ親しむ。</p> <p>○コミュニケーションを図る楽しさを味わいながら、自信をもって表現できるようにする。</p>	<p>○チャンツなど、全員で行う活動を繰り返し行うことで、楽しんで外国語活動を学ぶことができるようにする。</p> <p>○コミュニケーションを図る場の設定を工夫し、児童が自信をもてるようにする。</p>	<p>○チャンツでは、積極的に外国語を使って話そうとする姿が見られた。話すことの楽しさを味わわせる。</p> <p>○活動の中で児童に笑顔が多く見られるようになった。自信をもって楽しめる工夫をしていく。</p>

	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
5年	<p>○楽しく活動に取り組んでいる児童が多いが、学習したことを活用して自分からコミュニケーションを取ることが難しい。</p> <p>○英語を話したり、聞いたりすることに自信がない児童が多い。</p>	<p>○ジェスチャーなども活用しながら友達や教師、ALTと積極的にコミュニケーションを図ろうとする力を伸ばす。</p> <p>○身近で具体的な出来事や物を表す単語の意味を聞き取り、理解することができるようにする。</p>	<p>○歌や必然性のあるアクティビティを多く取り入れ、楽しんで外国語を学ぶことができるようにする。</p> <p>○5年生から6年生にかけて、何度も繰り返し学習し、聞き取る力に自信をもてるようにする。</p>	<p>○児童が楽しく主体的に学ぶ姿が見られた。何度も表現を復習するなど繰り返しの学習を徹底したことで、発展的な学習にも取り組めるようになった。</p> <p>○日頃の授業での活動や学習を通して、話すことや聞くことに少しずつ自信がでてきている。</p>
6年	<p>○外国語によるコミュニケーションをより積極的に図ろうとする態度を伸ばす必要がある。</p> <p>○アルファベットを使って語句や文章を書くことを苦手と感じている児童がいる。</p>	<p>○コミュニケーションを図る楽しさを味わいながら、自信をもって表現できるようにする。</p> <p>○アルファベットの大文字と小文字を区別し、教科書や教師が書いた例文を参考にしながら、慣れ親しんだ語句や文章を書くことができるようにする。</p>	<p>○ペアや少人数グループなど、コミュニケーションを図る場の設定を工夫し、自信をもてるようにする。</p> <p>○継続的にアルファベットの練習を取り入れ、自信をもって英語での文章や語句を書くことができるようにする。</p>	<p>○積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする姿が見られるようになった。</p> <p>○アルファベットは4線上に書けるようになってきているが、単語や文章を書く力はまだこれから伸ばしていく必要がある。</p>